

絹文化継承プロジェクトⅡ

繭ができました

7/3(火) カイコ育成指導の先生にご来校いただいて、収繭作業を行いました。大切に育てていたカイコが、「まぶし」の中にきれいに1つ1つ並んで、繭を作りました。昼休みに全校児童で、まぶしの中から丁寧に1つ1つの繭を取り出し、繭のまわりの毛羽を取って、収繭しました。現代では大変貴重な体験です。真っ白できれいな繭が422個811gできました。6月初めから始めたカイコの飼育も終了し、育てた繭でこれから絹の校旗を作成してもらいます。仕上がりが、今からとても楽しみです。





カイコ育成指導の先生が、何回も遠方から指導に来てくれていました。丁寧なご指導のおかげで、順調に育てることができました。ありがとうございました。

みんなで数えて、重さを量りました。

合計 422個 811g

繭1個あたり 1.9g



繭の中のさなぎ



カイコガは飛べない

上毛カルタ

「繭と生糸は 日本一」
 明治5年から富岡製糸場で生糸を生産し、海外にもたくさん輸出して、日本の発展を支えました。

